

令和 8 年度

丹波篠山黒豆情報

第 1 号 令和 8 年 7 月 30 日 丹波篠山市・JA丹波ささやま・NOSAIひょうご北播丹波支所・丹波農業改良普及センター

＊丹波篠山市内 6 カ所に調査定点を設置しています。

【生育】（令和 8 年 7 月 24 日丹波篠山市定点調査結果より）

	主茎長 (cm)	主茎節数 (節)
令和 8 年	26.5	11.9
平年(過去 10 カ年平均)	40.0	12.1
平年比	66%	99%
令和 7 年(参考)	42.5	12.8

＊平年値は、平成 28 年から令和 7 年の過去 10 年間の平均値

- ・主茎長は平年（過去 10 ヶ年平均）比 66%とかなり低く、主茎節数は平年比 99%と平年並みの生育となっています。
- ・主茎長は最高 42 cm、最低 16 cmと地域によってばらつきがみられます。
- ・6 月上中旬に最低気温が 15℃を下回る日が続いたことや、梅雨明け以降の高温少雨の影響で主茎長が平年を下回っていると考えられます。
- ・現時点で株が小さい場合、**トミー液肥** (500 倍以上) の散布をオススメします。

【病害虫】（令和 8 年 7 月 24 日丹波篠山市定点調査結果より）

	立枯性病害 株率 (%)	ウイルス病 株率 (%)	カメムシ類 虫数/株	サヤムシガ 被害株率 (%)	フタスジヒメハムシ 被害株率 (%)
令和 8 年	0.00	0.00	0.00	0.00	5.00
平年(過去 10 カ年平均)	0.50	3.58	0.01	8.76	4.17
平年比	0%	0%	0%	0%	120%
令和 7 年(参考値)	0.00	0.00	0.02	10.00	9.17

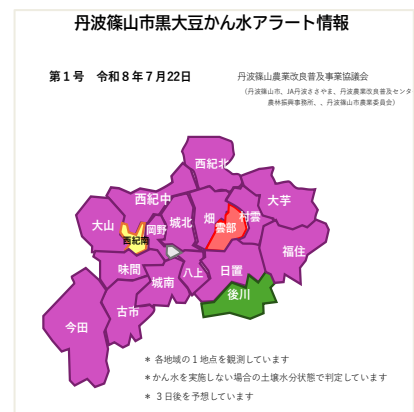
- ・茎疫病などの立枯性病害の発生は見られません。
- ・一部は場でサヤムシガの発生が確認されるとともに、フタスジヒメハムシ、ハダニ類の被害が見られます。

【今後の対策】

1 適期灌水

7 月 8 日の梅雨明け以降、平年よりも気温が高く、降水量が少ないため土壌が乾燥状態となっています。

今後、気象情報に注意し、開花期以降(8 月上旬)は特に水分を必要とするため、晴天が続く場合は土壌が乾燥する前に灌水しましょう。日中の暑い時間帯の灌水は避け、夕方または早朝に実施しましょう。



「丹波篠山市黒大豆かん水アラート情報」を

7 月 22 日から約 10 日間隔で発信していきます。灌水判断の参考にしてください。

2 病虫害防除

(1) 虫害防除

6月から多くのは場でフタスジヒメハムシの発生がみられます。開花期から莢が伸長・肥大する8月中旬～9月中旬は、莢を加害する害虫に注意し、定期的に薬剤防除を実施しましょう。



(2) 病害防除

茎疫病など立枯性病害対策のため、は場の排水対策を徹底するとともに、薬剤防除を実施しましょう。できるだけ発病前または発病初期に株全体に十分かかるように散布し、発病株はは場外に持ち出し処分しましょう。

だいたず(成熟させて収穫)とえだまめでは使用可能な農薬の種類や時期が異なります。
JA丹波ささやま「丹波篠山黒豆又は黒枝豆栽培こよみ」を確認し、ラベルに記載の内容に従って防除を行いましょう。

3 追肥の施用

生育後半の窒素を補い、生育を促すために追肥を行いましょう。

追肥量の目安(慣行型)：8月中旬 NK化成2号 40kg/10a 施用

また、花芽の充実・着果・結実に向け、開花期に**ホスプラス**(1000倍)を散布しまし
よう。

4 排水対策

排水性の悪いは場では、湿害による生育遅延や根腐れ、立枯性病害の発生など助長する恐れがあります。まとまった降雨があった際は、水は溜めたままにしないよう排水溝の手直しを行い、表面水を速やかに排水しましょう。

5 倒伏防止

強風による倒伏を防ぐため、支柱を立てるなど株を保護しましょう。

【参考：丹波篠山市消防本部気象データ】

